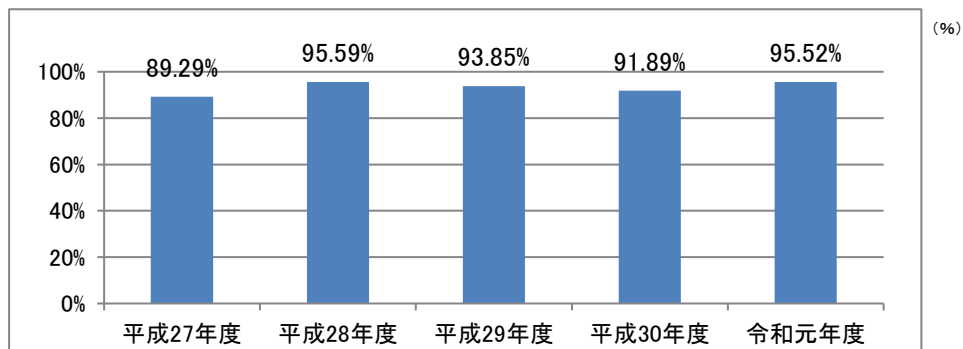


9 脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

○項目の解説

早期のリハビリテーションは運動機能の回復を促進することが明らかにされており、脳梗塞の診療の指針を示す診療ガイドラインでも推奨されています。脳梗塞患者の社会的復帰のためには、脳梗塞発症後速やかにリハビリテーションを行うことが重要です。早期のリハビリテーション開始が入院期間の短縮や生活の質の改善につながる可能性があることから、脳梗塞患者への適切な治療の一つとして評価されます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

当院は、600床以上を有する3次救急まで含めた急性期病院です。他病院からの紹介などによる様々な疾病の患者数に加え、急性期脳梗塞の受診患者数も増えており、様々な合併症や病態が複雑な症例も多い状況です。また、リハビリテーション科を交えた合同カンファランスを実施し、脳梗塞クリニカルパスを用いて、急性期の治療と同時並行に早期リハビリテーションを積極的に導入しています。

平成26年度以降は早期リハビリテーション実施率が徐々に向上しつつあり、令和元年度には95.52%に達しています。

○定義

緊急入院した脳梗塞症例の早期リハビリテーション実施率(%)です。

3日以内退院と転帰が死亡である場合は除きます。再梗塞を含みます。

○算式

分子: 入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数

分母: 最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者で、発症から3日以内、且つ緊急入院した患者数。院内発症した脳梗塞症例は含まない。